



# スマイル 天神

天神小学校だよりNo.3

平成30年4月20日

発行者 蒲川法子



思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子

## 歓迎集会・歓迎遠足

4月19日、運営委員会の子どもたちが中心となり歓迎集会が行われました。6年生と手をつないだ1年生が花のアーチをくぐって入場し、集会がスタートしました。1年生の自己紹介では、自分の名前と好きなものを全校児童の前で話すことができました。ゲームや歌で楽しい時間を過ごしました。1時間ほどの集会でしたが、高学年を中心によく動くことができました。



集会の後、天神公園に遠足に出かけました。5年生を先頭に、1年生は6年生と手をつなぎ最後尾を歩きました。1年生に優しく接する6年生の姿は、いつ見ても微笑ましいものです。1年生と接することで6年生がさらに最上級生らしくなります。

現地に到着後、広い公園で元気に遊んだり、お弁当を食べたり楽しいひとときを過ごしました。当日は天気がよかったので汗だくになり、水筒のお茶も空になってしまった子がいました。

本校の教育目標である「思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子」の育成に向け、異年齢集団による集会活動・行事は大切な学習の一つだと考えております。今後も様々な活動を通して児童の自主的自治的能力を育てていきたいと思っております。

## 子ども読書の日～4月23日～

広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、4月23日が「子ども読書の日」と定められています。

本校には「天神小学校の図書お薦めの100選」があり、学年に応じた本を紹介しています。それぞれの発達段階にあわせて一冊でも多くの本を読みたいものです。テレビを消して親子で本を読む時間を作ってみてはいかがでしょうか。

「大造じいさんとがん」の作者である椋鳩十氏が「母と子の二十分読書」を提唱されています。（お母さんに限らずお父さんももちろんいいと思います。）読書の方法は

- ①子どもが小声で本を読む。
- ②母（父）が子どものそばに座って静かに聞く。
- ③できるだけ毎日読む。

としています。そして20分間読書で気をつけることとして、

- ①お母さん（お父さん）が本当に耳を傾ける（子どもの読みに没入する）。
- ②子どもの読み方の上手下手に神経質にならない。
- ③約束の時間を守る。
- ④母（父）と子どもの共通の読み物は二人とも先を読まない。

ということだそうです。

毎日20分の読書は簡単なようで続けることは容易なことではありません。でも、続ければ確実に効果があります。“継続は力なり”です。

家族読書への取組、どうぞよろしく願いいたします。

